

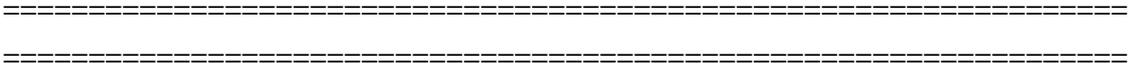


岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方にものみお送りしています

第7号(2010年7月7日発行)
発行：岡山大学法学部 学部長室



今日は七夕、法学部だより第7号をお届けします。

法学部ホームページからの本メールマガジンの登録者数が100名に達しました。ご登録、ご購入いただき、心より感謝いたします。引き続きよろしく願いいたします。

今回は長年にわたり岡山大学法学部を支える2名のベテラン教授をご紹介します。卒業生レポートは、ロースクールで法曹をめざし勉強中の内田裕子さんにお問い合わせしました。海外からのコラムは、井上武史准教授のパリ便りの第3回めです。

岡山の七夕の夜は晴れそうです。皆さんの願い事がかないますよう。

目次

- 法学部教員紹介
- 卒業生からのメッセージ (第3回)
- パリ便り ～ソルボンヌからの風～ (第3回)
- 法学部からのお知らせ
- 最近の話題



○ 法学部教員紹介

☆ 谷 聖美 (たに さとみ) 教授

現代政治分析Ⅰ，同Ⅱなどを担当している政治学の谷と申します。私の経歴や研究活動については私のホームページをご覧ください。我が家の柴犬が皆様をご案内します。また，私が現在住んでいる倉敷の魅力伝えるサイトへのリンクもそこに張ってあります。私のホームページは次の通りです。

<http://www.law.okayama-u.ac.jp/~tani/>

私は1949年5月に福井県武生市(たけふ，2005年に越前市と改名)に生まれました。地元の高校を卒業するまで18年間，その小さな町で過ごしました。それから，大学受験に落ちて一浪した予備校時代から大学院を修了するまでの11年間を京都で暮らしました(学部の時も1年留年しています)。

岡山大学に職を得たのは1979年のことですが，就職してすぐ，大学の後輩で当時京都で弁護士をしていた女性と結婚(強制執行されました)，まもなく彼女が倉敷に事務所を構えたので，それに引きずられて同市に転居，それからずっとそこに住んでいます。ただ，その間運良くアメリカ政府の奨学金試験に合格したので，1990年から1年少々，ミシガン州アナーバーという美しく静かな大学町で家族と暮らしたことがあります。こうして，私には武生をはじめとして日米に4つのふるさどができました。

家族は妻と1男2女ですが，長男と長女は京都に出ており，今は妻と次女の3人暮らしです。次女がこの春岡山大学のある理系学部に入学したため，当分親子3人暮らしのままとなりそうです。長男は昨年結婚しましたが，孫はまだいません。65歳の定年まで，あとしばらく研究・教育で頑張りたいと思っています。趣味は，学会で毎年1度は訪れるアメリカで車をぶっ飛ばすことです(1度パトカーに捕まりました)。あと，音楽ではサイモン・&・ガーファンクルやビリー・ジョエル，そしてアバなどをよく聞きますが，最近はファンモンにもはまっています。クラシックはバッハとストラビンスキーです。ということで，よろしくお願ひします。

☆ 荒木 勝 (あらか まさる) 教授

今年で岡山大学・法学部に赴任して30年になります。大学では西洋政治史を担当し，大学院では，主に，アリストテレス政治学を教えています。

最近の法学部の授業で痛感するのは、学生の、未来に対する不安感です。それは、自分たちの将来の見通しだけでなく、日本や世界にたいする漠然とした不安感です。ある授業で、それはどうやったら解消するのか、と尋ねたら、政治をよくする以外にないという答えが多くからの学生から返ってきました。学生の知的感性がかなり実生活の実態に関わっていることを痛感しました。翻って私は一政治学研究者としてこれにどう応えるべきか、今自問自答しています。一つの実験として、政治学の講義の実習化の可能性を考えています。医学や工学、農学のような実習は採用せず、社会と直接関わらないのが、法学政治学の教育であった。少なくとも私の教育は長い間そうであったが、それでいいのか、考えています。

○ 卒業生からのメッセージ (第3回)

岡山大学法学部の皆様、初めまして。私は、一昨年(2009年3月)岡山大学法学部を卒業し、現在は法科大学院(いわゆるロースクール)で、法曹として働くことを目指し勉強しています。

学部時代、ある先生から「院に就職したつもりで頑張りなさい」という言葉を頂きました。進学した現在、授業数は以前と同じ位ですが、密度が増したため、予習復習や仲間とのゼミなど、法学の勉強が生活の大部分を占めた、まさに「学生」をしています。私は要領が悪く、もっと学部時代に学んでおれば、と嘆くこともしばしばですが、周囲のやる気に励まされながら、懸命に過ごしています。先生の言葉の意味を、改めて考える今日この頃です。

卒業後、色々な分野で頑張っている友人や、先輩、後輩の皆様とお会いして、当たり前のことですが、法学部だからこれという訳ではなく、人それぞれの進路がある、ということをより強く感じるようになりました。学生の皆様が、様々な体験を重ねる中でご自身を見つめ、自信と勇気をもって皆様自身の道を選択できること、勝手ながらお祈りしています。素敵な学生生活をお過ごし下さい。

内田 裕子

京都大学大学院法学研究科法曹養成専攻 第6期末修2年

○ パリ便り ~ソルボンヌからの風~ (第3回)

小学生が法律を作ったの？

先月の6月5日、第16回「子ども国会」がセーナ河岸の国民議会（日本の衆議院に相当）で開催されました。1994年から開催されているこの子ども国会では、現職議員と同じ選挙区から選ばれる577名の小学5年生が国会議事堂に集まり、子ども議員として法案審議や採決などを行います。これは、市民教育の一環として行われるもので、国民としての子どもの民主主義システムを体験させることを目的としています。

当日は、その年のテーマに関する3つの法案について、まず少人数に分けられた委員会で討論を行った後、全員が集う午後の本会議で採決を行います。本会議では、法案を提出した小学生による趣旨説明と大臣に対する質疑が行われ、最後にどの法案が一番支持を得たのかを投票により決定します。今年は「子どもの権利」および「人の安全と健康」がテーマでしたが、結局、本会議では、本年2月にヨーロッパを襲った暴風雨がまだ記憶に新しいことも影響してか、水害対策に関する法案（川に近い市域には、洪水時に危険を知らせる警報が鳴らされるべきことなど）が352票と最も多くの支持を獲得しました。この法案は後に、提案者の選挙区を代表する国会議員によって、議会に提出されることになっています。

子ども国会の様子は、国民議会のサイトで見ることができます（下記参照）。それにしても、小学5年生の子ども議員が自らの意見を整然かつ堂々と述べていることには、本当に感心させられます。他方、子ども議員のサポートを行う本物の議員たちも真剣です。子どもからの質問を受けて現職大臣が答弁に立つ（時には答弁に詰まる）など、議事は実際の議会審議さながらの臨場感と緊張感の中で進められており、子どもに本物の民主主義を体験させたいという議員たちの願いが伝わってきます。また、本会議の議事を進行するアコイエ国民議会議長が、議事の合間にフランス議会の歩みや国是とする価値観を、子どもたちに諭すように語りかけている姿も印象的です。

このような子ども国会が文字通りの「子ども騙し」の企画でないことは、採択された法案が、その後現実に法律となったという事実にも表れています。1996年の第3回子ども国会では、両親の離婚後も兄弟姉妹の関係は保持されるべきとする法案が採択されましたが、これは後に、正式の議会手続を経て民法典に編入されました（第371-5条）。家族の問題が子どもにも係わることを思えば、上記のような結果は、投票権をもたないが当事者である子どもの利益を反映するものと言えるでしょう。議場の子どもたちの表情が真剣であることも頷けます。

*子ども国会の様子については、下記のフランス国民議会のHPをご覧ください。

・本会議での審議の様子（約76分）

<http://www.assemblee-nationale.fr/juniors/parlement-2010/2010-seance-video.asp>

・子ども国会ダイジェスト（約4分）

<http://www.parlementdesenfants.fr/le-jour-j/>

（井上 武史 准教授）

○ 法学部からのお知らせ

☆岡大法学部オープンキャンパスのご案内

岡大法学部では、以下の要領で恒例のオープンキャンパスを実施し、高校生と
そのご父兄を対象とした説明会を行います。高校生の皆さんは、この機会にぜひ
法学部に足を運んでみて下さい。あなたの知らない法学部の魅力が必ず発見でき
ます!

日時：8月7日（土）13：30～15：30

場所：文法経 26 番講義室

内容：学部長挨拶、概要説明（入試、教務、学生生活等について）、在学生によ
る学部紹介、教員・学生との歓談会

以下の全学のパンフレットも併せてご参照下さい。

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/st/nyushika/pdf/opencampus2010.pdf>

○ 最近の話題

☆法学会講演会が開催されました。

7月6日(火)14：30～16：00、文法経 20 番教室に於いて、岡山大学の助手、助教
授などを経て、現在神戸大学の教授を務めておられる窪田充見先生を講師にお迎
えし、今話題の家族法の諸問題についてお話をいただきました。会場は立ち
見の出るほどの学生で埋まり、講演会は大盛況でした。

講演会の様子については後日、法学部のホームページで紹介しますので、是非ご覧ください。

☆平成 22 年度 法文経学部同窓会 岡山総会が開催されました。

7月2日(金)午後6時から、今年度の岡山大学法文経学部同窓会 岡山総会がホテルグランヴィア岡山で開催されました。今年度は幹事のご努力もあり、150名を超える参加者で、たいへんな盛会でした。

総会は、陶浪会長、今年度の名誉会長である永田文学部長のご挨拶の後、平成21年度決算および平成22年度予算などの議事があり、特別講演として、千葉喬三岡山大学長による「国立大学法人化と岡山大学」のご講演がありました。

総会後の懇親会では、各学部・研究科の現況の披露があり、同窓生同士が久闊を叙する姿を至る所で見ることができ、同窓生の皆さんのパワーを感じることができたひとときでした。

来年の総会には、是非とも多数の同窓生の皆さんが集われることを期待しています。

(法学部長 佐野 寛)

.....

・本メールマガジンは、岡山大学法学部に関する情報を提供する目的で毎月2回程度配信されています。

・岡山大学法学部の詳細情報に関しては、HPも併せてご覧ください。

岡山大学法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>

・本メールマガジンには返信なさないようにお願いします。

・本メールマガジンの配信を希望しない場合やメールアドレスの変更を希望される場合には、以下の URL からご登録・解除ください。

<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>

・ご意見・ご感想のある場合は、岡山大学法学部 情報委員会

joho@law.okayama-u.ac.jp までお願いいたします。

.....